

第2学年 算数

第2学年の学習到達目標

- (1) 具体物を用いた活動を通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解を深めると共に、加法および減法の意味について理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、長さの単位や測定についての理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層重ね、図形についての感覚を豊かにする。

第2学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	1 ひょうとグラフ	簡単なことがらについての記録のしかたを理解する。 簡単なことがらを分類整理し、その数を使って、表やグラフの形に表す。	事柄の分類・整理し、簡単な一次元の表やグラフに表したり、読んだりすること
	2 1000までの数	1000までの数について、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序について理解する。 数の相対的な大きさについて理解する。	1000までの数の読み方、書き方、構成、位取りの原理、数の系列、大小、順序 10を単位とする数の構成に着目した加減計算
	3 たし算のひっ算	(2位数)+(2位数)の筆算のしかたを理解する。 たし算の交換法則を理解する。	(2位数)+(1,2位数)の筆算形式による加法計算 加法の交換法則を理解し、検算に用いること 3口の数の加法についての結合法則
	4 ひき算のひっ算	2位数までのひき算の計算のしかたを理解する。 ひき算の筆算のしかたについて理解する。 たし算とひき算の相互関係について理解し、計算のたしかめに用いる。	(2,3位数)-(1,2位数)の筆算形式による減法計算 加法と減法の相互関係を理解し、検算に用いること
	3けたのたし算とひき算	簡単な(3位数)+, -(3位数)の計算のしかたを理解する。	簡単な(3位数)+, -(3位数)の計算
	5 いろいろな形	いろいろな形を作ったり分解したりして、図形についての理解の基礎となる経験を一層豊かにする。 色板やひごを使ってものの形を作ることができる。	基本的な平面図形の特徴や性質の理解 基本的な平面図形を組み合わせたり、囲んだ線で形を表したりすること 色板や棒を使ったり、点と点を線でつないだりして、いろいろな形を作ること
	6 とけい	日常生活と結びつけて、時刻の概念を養うことができる。 日常生活の中で「何時」「何時半」「何時何分」の時刻を読むことができる。	何時、何時半、何時何分の時刻を時計から読んだり、模型の時計に表したりすること
	時間と時こく 1日の時間	長針の動きと時間の関係を理解する。 具体的な生活経験から、1日は24時間、1時間は60分等の関係を理解する。	時刻と時間の違い 60分間が1時間であること 1日は24時間であること 午前と午後の意味
7 たし算とひき算 (1)	たし算やひき算についての理解を深め、それらを使う能力を伸ばす。 たし算とひき算の相互関係について理解する。	テープ図で数量の関係をとらえ、立式し、計算すること 異種の量についての加法・減法 順序、順序数についての加法・減法	
8 長さ(1)	長さの比較などを通して、長さの概念について理解し、簡単な場合の測定ができる。 長さの単位cm, mmについて知る。	長さを測る単位の必要性、有用性の理解 ものさしで長さを測ったり、直線をひいたりすること 長さの単位「センチメートル(cm)」「ミリメートル(mm)」と、単位の関係 長さの加減計算	

後期	9 かけ算(1)	かけ算の意味について理解し,それを使うことができるようにする。	乗法の意味と用語,記号
	10 かけ算(2)	かけ算の意味について理解し,それを使うことができる。 2,5,3,4の段の九九の唱え方を知り,正しく覚える。	2,5,3,4の段の九九の構成の理解,記憶,適用
	11 かけ算(3)	かけ算の意味について理解し,それを使うことができる。 6,7,8,9,1の段の九九の唱え方を知り,正しく覚える。	6,7,8,9,1の段の九九の構成の理解,記憶,適用 かけ算九九に関する演算決定
	12 かけ算(4)	かけ算の意味について理解し,それを使うことができるようにする。	九九表の構成としくみ 乗法のしくみや,乗法について成り立つ性質(乗法の交換法則) かけ算ゲーム
	13 長さ(2)	長さの単位mについて知る。 ものさしや紙テープなどで長いものの長さをはかる。	メートル「m」の単位や,メートルとセンチメートルの関係 簡単な長さの加減計算
	14 1000より大きい数	10000までの数の読み方や表し方を理解し,十進位取り記数法の考え方をを使う能力を伸ばす。 10000までの数の順列,大小関係などについて理解する。	10000までの数の読み方,書き方,構成 「千の位」の用語,十進位取り記数法,数の系列,順序,大小
	15 三角形と四角形	具体物の観察や構成などの活動を通して,図形についての理解の基礎となる経験を一層豊かにする。 三角形や四角形の意味を理解し,直線の数に目をつけてこれを弁別する。	直線の意味や三角形,四角形の概念の理解と弁別
	長方形と正方形 直角三角形	長方形の定義を理解し,いくつかの四角形の中から長方形を見つけることができる。 直角三角形の定義を理解し,いくつかの三角形の中から直角三角形を見つけることができる。	直角の意味や長方形,正方形,直角三角形の概念の理解と弁別
	16 たし算とひき算(2)	たし算やひき算の相互関係を使って,逆思考の問題を解くことができる。 問題の要素をテープ図に表し,数量の関係をとらえた式に表すことができる。	テープ図を用いての加法や減法の相互関係 加法逆の減法,減法逆の加法,減法
	はこの形	箱の形は6つの面で構成されていることを理解し,面のつながりを考えながら,箱の形を再構成することができる。 箱の形は辺が12本,頂点が8つ,面が6つあることを理解する。	「面」「辺」「頂点」の用語 構成要素の数 面と面のつながりのきまり
17 2年のまとめ	既習の用語や定義,性質が分かり,計算や作図が適切にできる。	既習の学習事項	

評価の観点・方法

(1) 評価の観点 それぞれ学習を進める中や後で評価します。

【算数への関心・意欲・態度】

数量や図形に親しみを持ち、それらについて様々な経験を持つとするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。

【数学的な考え方】

算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。

【数量や図形についての表現・処理】

整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、もの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。

【数量や図形についての知識・理解】

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。

(2) 評価の方法

学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視
知識や理解、技能だけでなく、児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視して評価します。

多面的な評価

ペーパーテストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノートの整理の仕方、自己評価、相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

特色ある学習方法

(1) 授業では、状況に応じて、提示物・プリントなども用います。

(2) ブロックやタイルなどの具体物を用い、操作的活動を多く取り入れ、児童の思考を援助します。

(3) 意見交換、学び合い、そしてゲームを取り入れることで、楽しさを作り出します。

使用教材等

教科書「算数2年」(学校図書) 平成21年度用補助教材「算数2年」

プリント・計算スキル

教材：算数セット、かけ算カードなど

留意事項

習熟には家庭での学習が欠かせません。宿題をやっているかどうかだけでなく、何をどのように学習しているのか、また、その理解や習熟の様子を宿題を通して見ていただくことで、子どもたちの意欲や自覚も変わってきます。ご協力をお願いします。